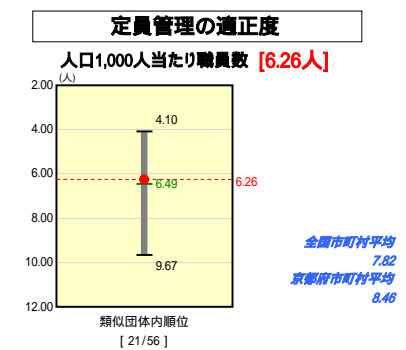
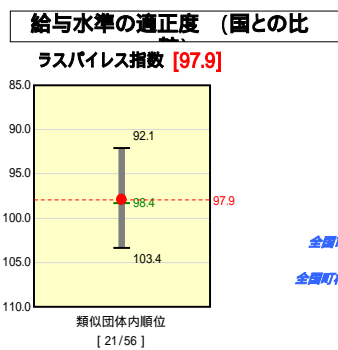
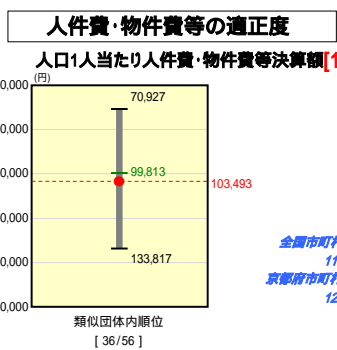
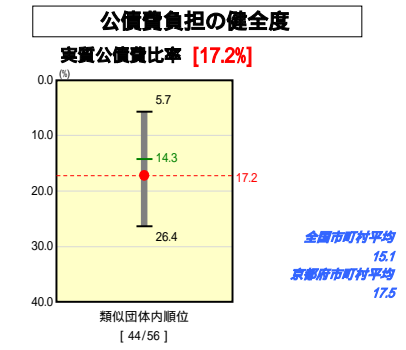
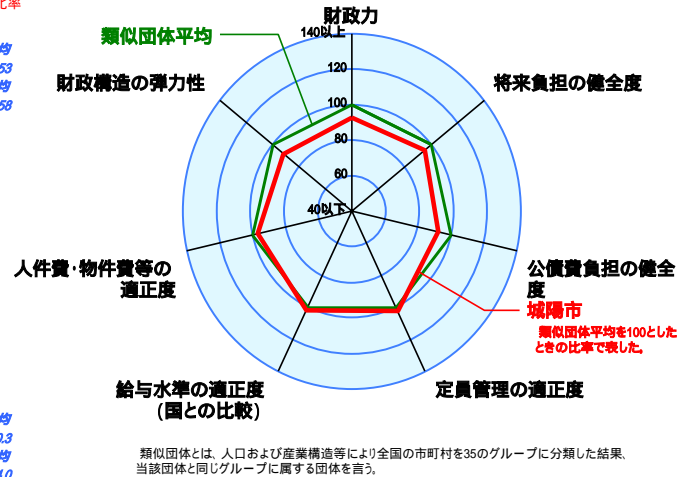
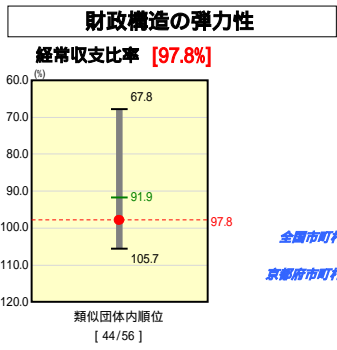
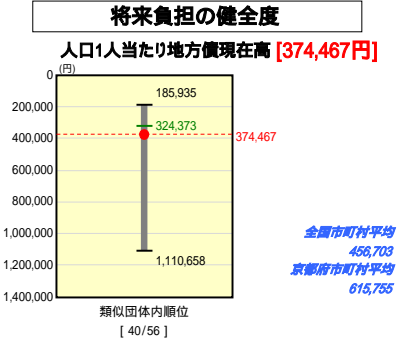
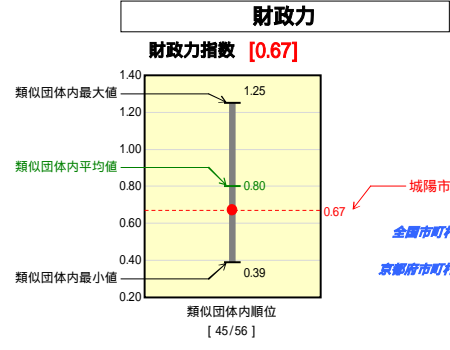


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

京都府 城陽市

人口	81,135	人(H19.3.31現在)
面積	32.74	km ²
歳入総額	22,981,875	千円
歳出総額	22,601,173	千円
	152,394	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力(財政力指数)】
地方交付税をはじめとする経常一般財源総額の落ち込みが続いており、極めて厳しい財政状況であります。危機的状況の打開に向け、歳入歳出両面において、聖域なき改革をすすめ、財政基盤の強化を図ります。

【財政構造の弾力性(経常収支比率)】
平成18年度における経常収支比率は、前年度比で1.9ポイント悪化し、97.8%となりました。これは、経常一般財源充当経費では、人件費、公債費は減となったものの、扶助費の増により、全体では0.5億円の減に留まったこと、他方、経常一般財源では、市税で2.3億円、地方譲与税で2.9億円増加したものの、普通交付税が9.3億円の減、臨時財政対策債発行額が1.3億円の減となるなど、全体で3.3億円の減(2.3%)となったことが影響したものであります。行財政改革のさらなる取組みを通じ、義務的経費の削減に努めます。

【人件費・物件費等の適正度(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)】
民間で実施可能な部分については、委託化を進め、コストの低減を図っているところであり、今後ともその方針を継続していきます。また、人件費抑制に努めます。

【給与水準の適正度(ラスパイレス指数)】
類似団体平均は下回っていますが、今後とも行財政改革を進め、人件費抑制に努めます。

【将来負担の健全度(人口1人当たり地方債現在高)】
地方債残高は、平成8年度をピークに減少傾向にありましたが、近年、臨時財政対策債の発行などに伴い、平成16年度より増加しています。平成18年度は平成17年度と比較し、現在高総額は減となっていますが、人口1人当たり現在高は、前年度より増となっています。類似団体平均を上回っていることから、公債費比率、起債制限比率、さらには実質公債費比率に留意した財政運営に努めます。

【公債費負担の健全度(実質公債費比率)】
緊急度、住民ニーズを的確に把握した事業の厳選や、借換を行うことにより償還額の平準化及び実質公債費比率の上昇の抑制に努めます。

【定員管理の適正度(人口1,000人当たり職員数)】
平成18年度において、既存の定員管理計画(平成12年度策定)の目標年次の短縮、削減率の引上げを内容とする、第2次定員管理計画を策定し、中長期にわたる職員の年齢構成の是正をはじめとする因機世代対策など、計画的な定員管理を進めているところであり、類似団体平均を下回っています。引き続き、計画的な定員管理を行います。